管内視察

産業経済委員会

8月29日

産業経済委員会では、災害状況を調査するため、8月29日に管内行政視察を行いました。

・市道玉川落合線

玉川町と落合町を結ぶ市道玉川落合線の崩落現場では片側の車線が大きく崩れており、早期の復旧に対する要望が多く送られてきています。

・西本池

中井町西方の西本池では、池の周囲を走る市道の崩落現場を視察しました。

・高倉町田井肉谷地区

高倉町田井肉谷地区の土石流被害現場では、山の山頂付近で発生した土石流で川沿いの住宅が甚大な被害を受けました。

・高梁浄化センター

高梁浄化センターでは、下水処理施設が冠水して電気系統が被害を受けました。雨水の排水ポンプは、建設して以来初めて3基全てのポンプを稼働、さらに消防のポンプ車も総動員して排水を行いました。

市道玉川落合線の崩落現場

高梁浄化センター

管内視察

市民生活委員会

8月23日

市民生活委員会では災害復旧状況を調査するため、8月23日に管内行政視察を行いました。

・玉川地域市民センター

7月6日夜10時にセンターが冠水し玉川小へ避難、7日早朝に泥を掃きだし電気や電話等の仮復旧。早朝から窓口業務、被災者支援、災害ボランティア活動拠点として業務を再開。無休で対応しました。

・高梁市斎場

斎場全体が40～50センチ浸水し、火葬炉設備、空調設備、和室、控室、事務所などが被害を受けました。再開見込みは10月中旬で、その間は総社市、新見市、吉備中央町、広島県神石高原町で対応していただいていました。

・成羽病院附属備中診療所

診療所1階が床上浸水し、医療機器、電子カルテシステム、公用車3台が被害を受けました。復旧作業に地域住民や診療書職員が従事し、7月17日に診療再開。使用不能になった機器を使用する患者は成羽病院で対応しました。

玉川地域市民センター

成羽病院附属備中診療所

管外視察

市民生活委員会

10月16日～10月17日

訪問地：福岡県みやま市、熊本県山鹿市

みやま市ではスマートエネルギー施策とバイオマス産業都市構想を視察しました。メガソーラーや第三セクターの電力会社によりエネルギーの地産地消と生活支援サービスを行っています。また、メタン発酵発電液肥化プロジェクトを進めることにより循環型社会の実現を進めています。

山鹿市では窓口業務の民間委託について視察しました。公共サービス改革法を受けて、民間活力を生かし市民サービスの向上と行政コストの削減のために、平成27年10月1日より市民課窓口業務の民間委託を開始しました。

熊本県山鹿市議会

管外視察

議会運営委員会管外行政視察

10月11日

訪問地：真庭市

議会運営委員会では、議会のICT化（情報・通信技術の活用）に向けた研究のため、真庭市を視察しました。

真庭市では、議案をタブレット端末に表示できるようになったため、予算・決算書を除き、印刷物は12月議会から廃止する予定です。事務局からの連絡・通知も全てメールで行うとありました。

議案など印刷物を廃止することでのコストダウンや省エネルギーが図られ、メール通知機能を活用することで事務連絡の軽減も図られたそうです。

タブレット端末は議会費から議員と事務局分のレンタル代を支出し、端末の通信費は議員個人の負担としていました。

タブレット端末を議員全員が同じように使えるのかという質問には、議員全員で決めたことなので慣れてもらうしかないとの回答でした。

視察でタブレットを触ってみましたが、画面がとても見やすく操作も簡単という印象でした。

真庭市議会

平成30年10月から新体制になりました（任期2年）

議長　小林　重樹

副議長　宮田　公人

常任委員会

総務文教委員会
◎内田大治
○石井聡美
川上修一　倉野嗣雄
三村靖行　石田芳生

産業経済委員会
◎森田仲一
○伊藤泰樹
大月健一　宮田公人
宮田好夫　平松賢司

市民生活委員会
◎黒川康司
○石部　誠
川上博司　小林重樹
森上昌生　森　和之

議会運営委員会
◎川上修一
○川上博司
宮田公人　森田仲一
内田大治　黒川康司

特別委員会

議会広報公聴特別委員会
◎石田芳生
○石井聡美
川上博司　宮田好夫
石部　誠　森上昌生
森　和之　伊藤泰樹

高梁地域事務組合議会議員
小林重樹　森田仲一
黒川康司　石部　誠
伊藤泰樹

高梁市監査委員
倉野嗣雄

◎委員長　○副委員長